

試験で使える小技

～ 試験当日は、態度も重要!!! ～

=====
介護福祉士試験は 50%程度の合格率、社会福祉士試験やケアマネ試験は 20%程度の合格率です。試験合格の基準はだいたい 60%～70%の得点が必要となります。教育現場では、「他の受験生は関係ない。自分がしっかり得点すれば合格できる試験だ」というようなニュアンスで説明されている先生もいるようです。これも正しいことをおっしゃっていると思います。

しかし、石橋を叩いて渡るタイプの私にとっては、「自分がしっかり得点をとっても、他の人がより高得点をとってしまえば不合格になる」「2人中1人や、5人中1人しか合格できないなら、単純に試験で自分の周囲に座る受験生よりは高得点をとらなければ」という不安を抱き、「ならば、自分はしっかり得点をとつつ、全うな方法で他人の得点を下げることにはできるのか?」という考えが浮かんでしまいます。

※他人の得点を下げるといっても、迷惑行為や直接的 or 間接的な攻撃はNGです。(これだけは絶対にやめて下さい。)

私は、地味にジワジワと、正攻法で周囲にプレッシャーをかけることはできないかと、色々と考えてみました。そして見つけました!それは「試験慣れしており、自分の合格を信じてやまない自信に満ち溢れた礼儀の正しい者」…つまりは「できる奴」を演じることです。

試験当日は、皆さんそれなりに緊張しているかと思います。試験会場は、個々の緊張の集合体により、とても居心地の悪い雰囲気になっています。その中で、いきなり自信満々な者が会場に入ってきて、試験監督員に「おはようございます。今日はよろしくお願ひします」と微笑を交えながらさり気なく挨拶したら、自分の受験番号を受験票で確認せず、当たり前のように自分の席に向かって歩いていったら、そんな奴が席に座るなり、筆記用具とメモを取り出し、急に何かを書きだしたら、その者を見た受験生は少なからず「あの人は何者?緊張していないの?何をやっているの?」といった疑問が生じ、余計な思惑やプレッシャーにつながると思います。それができれば、こちらの勝ちです。あとは試験に集中して高得点をめざしましょう。

ただ、これが相手の得点の低下につながるかは定かではありません。しかし、試験当日、心臓はバクバクでも「試験慣れした自信満々の紳士」や「受かって当然という自信に満ち溢れた礼儀正しい淑女」みたいな役を演じながら試験にのぞむことで、自分の緊張も緩和されると思いますよ。良かったら試してください。

福祉試験対策工房&ぼぼ屋は、Facebook や Instagram も開設しています。

 @fukusitaisaku_boboya

 fukusitaisaku_boboya

★「いいね」「フォロー」大歓迎です!是非ご覧になってください★

